

平成 23 年 8 月 31 日
東京電力株式会社

福島第一原子力発電所における内部被ばく管理の強化等について

1. 被ばく線量の分布等について

本年 3 月から 5 月及び 6 月に新たに発電所で緊急作業に従事した労働者の内部被ばく線量を添付資料 1 に示す。

2. 被ばく線量管理における連絡先不明者の調査について

発電所で緊急作業に従事した労働者のうち、連絡先不明者の対応については添付資料 2 に示す。

以 上

被ばく線量の分布等について

【今回の集計範囲】

緊急作業従事者	外部被ばく	内部被ばく		外部被ばく +内部被ばく
3月から従事 3,751名	3,751名(3月)	8/26迄に WBC測定	3,738名(3月)	3,738名(3月)
4月から従事 3,650名	3,650名(4月)		3,522名(4月)	3,522名(4月)
5月から従事 3,650名	3,143名(5月)		2,996名(5月)	2,996名(5月)
6月から従事 2,278名	2,278名(6月)	今後	1,981名(6月) ➡表2	1,981名(6月) ➡表3
	➡表1		13名(3月)	13名(3月)
			128名(4月)	128名(4月)
			147名(5月)	147名(5月)
			297名(6月)	297名(6月)

(*) 福島第一原子力発電所構外での作業に従事した作業者については、集計の対象外とする。

1. 外部被ばく線量

緊急作業に従事した作業者の6月末まで(3月:3/11~3/31・4月:4/1~4/30・5月:5/1~5/31・6月6/1~6/30)の外部被ばく線量(※1)の分布を表1に示す。

※1 4月5月6月分は当該外部被ばく線量は免震重要棟滞在時の線量及び移動中の線量を加算していない。
(ただし、ガラスバッジのデータなどが含まれているケースもある)
4, 5, 6月分には重複者、対象外の者を含む

表1.

区分 (mSv)	3月			4月			5月			6月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250 超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200 超え~250 以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150 超え~200 以下	6	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 超え~150 以下	22	8	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50 超え~100 以下	107	55	162	0	2	2	0	0	0	0	0	0
20 超え~50 以下	268	145	413	6	51	57	2	17	19	0	17	17
10 超え~20 以下	560	324	884	22	251	273	9	124	133	1	96	97
10 以下	690	1,563	2,253	593	2,725	3,318	268	2,723	2,991	182	1,982	2,164
計	1,653	2,098	3,751	621	3,029	3,650	279	2,864	3,143	183	2,095	2,278
最大 (mSv)	182.3	199.4	199.4	42.7	65.9	65.9	24.6	41.6	41.6	11.9	38.7	38.7
平均 (mSv)	19.00	9.10	13.50	2.10	3.40	3.20	2.46	2.68	2.66	1.05	2.18	2.09

2. 内部被ばく線量

緊急作業に従事実績のある作業者のうち、8/26までにWBC測定を実施した作業者の内部被ばく線量（※2）の分布を表2に示す。

2：放射性物質の摂取時期に係る調査、JAEAでの詳細評価等によって、新たに評価が進んだ場合は数値が見直される場合がある。

表2.

区分 (mSv)	3月			4月			5月			6月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250 超え	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200 超え～250 以下	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150 超え～200 以下	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 超え～150 以下	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50 超え～100 以下	36	41	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 超え～50 以下	179	80	259	0	1	1	0	0	0	0	0	0
10 超え～20 以下	401	259	660	1	20	21	0	1	1	0	0	0
10 以下	1,024	1,706	2,730	620	2,880	3,500	279	2,716	2,995	183	1,798	1,981
計	1,652	2,086	3,738	621	2,901	3,522	279	2,717	2,996	183	1,798	1,981
最大 (mSv)	590.0	98.5	590.0	18.8	41.8	41.8	0.5	10.1	10.1	1.2	1.7	1.7
平均 (mSv)	12.00	6.30	8.80	0.30	0.70	0.60	0.02	0.14	0.13	0.02	0.03	0.03

3. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

上記2.における内部被ばく線量を評価した作業者について、当該内部被ばく線量に外部被ばく線量を加算した値の分布を表3に示す。

表3.

区分 (mSv)	3月			4月			5月			6月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250 超え	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200 超え～250 以下	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150 超え～200 以下	12	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 超え～150 以下	66	15	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50 超え～100 以下	190	112	302	0	3	3	0	0	0	0	0	0
20 超え～50 以下	525	331	856	9	71	80	2	19	21	0	17	17
10 超え～20 以下	508	496	1,004	20	287	307	9	137	146	1	95	96
10 以下	345	1,128	1,473	592	2,540	3,132	268	2,561	2,829	182	1,686	1,868
計	1,652	2,086	3,738	621	2,901	3,522	279	2,717	2,996	183	1,798	1,981
最大 (mSv)	670.4	238.4	670.4	45.6	69.3	69.3	24.8	41.6	41.6	11.9	38.7	38.7
平均 (mSv)	31.10	15.50	22.40	2.30	4.20	3.90	2.48	2.94	2.90	1.08	2.48	2.35

以上

被ばく線量管理における連絡先不明者の調査について

【現状】

福島第一の復旧作業に従事した作業者のうちWBC未受検者について所属企業へ受検要請を行う中で、企業による調査・確認の結果、当該作業者をを使用した実績を確認できない、あるいはすでに退職済み等の理由により連絡が取れないといったケースが発生している。

想定される原因は、APDを貸出す際、手書きの台帳を用いていたことであり、手書き記載による、氏名の誤り、名字のみの記入、文字・読みの判読困難、ふりがなの未記入や、台帳をもとにAPD貸出者をリスト化する際の氏名の読み間違いや入力誤りが生じたため、個人の追跡が困難な状況になったものである。

なお、作業員一人一人に作業員証を発行し、APD貸出に当たってバーコードによる個人識別方式を導入（1F：4月中旬、Jヴィレッジ：6月上旬）した以降は、このような事象は生じていない。

【不明者解消への取り組み】

これまで、以下のような取り組みを実施し、連絡先不明者は3月～6月の新規入域者について、合計約90名まで減少しているが、未だ解消には至っていない。

APD貸出者リスト・WBC受検者リストの精査・再確認により、類似氏名・読み、作業場所、入域日時等の情報を収集し、得られた情報をもとに再度企業へ該当者がいないか確認を依頼

不明者のリストを他企業へ提供し従業員情報との照合を依頼

APD貸出台帳に実際に記入された所属・氏名や同時入場者の情報などから個人特定の手がかりを探り、得られた情報をもとに再度企業へ確認を依頼

WBC未受検者の連絡窓口を設置

【今後の取り組み】

被ばく線量管理の担当箇所と異なる社内他部門に、調査チームを発足し、9月末の調査完了を目指して以下の活動を展開する。

企業（元請会社、下請け会社）に対する聴き取り

（当該作業に従事する作業者をどのように集めたのか、給与支払に関する情報はな
いか等）

入域日時などから同一作業をおこなったと想定される作業員に対する聴き取り

以上